

『安全・安心社会の電気エネルギーセキュリティ』の一部修正について

読者の皆様へ

令和2(2020)年8月1日

「安全・安心社会の電気エネルギーセキュリティ」

特別調査専門委員会・幹事団

「安全・安心社会の電気エネルギーセキュリティ」特別調査専門委員会では、昨今の電力系統の課題を分かりやすく取りまとめるべく、標記の報告書『安全・安心社会の電気エネルギーセキュリティ』を2018年6月15日(金)に発表いたしました。

しかしながら、この度、読者の方のご指摘により、一部の記述について事実と異なることが判明いたしました。よって、慎重に調査、議論し、以下のとおり報告書を修正いたしました。

p. 64「小説・映画・ドキュメンタリーの企画」の第2段落目：

その後、貞奴は川上と死別し、芝居興行から引退した後に、福沢諭吉の娘婿であり「電力王」といわれた福沢桃介と、最盛期のビジネスを支えたパートナーとして公私にわたって支え合う関係であった。

および

1924年(大正13年)に日本初のダム式水力発電所である「大井発電所」を作ったのが福沢桃介である^(72,73)。

の2カ所。

読者の皆様には深くお詫び申し上げます。また、ご指摘いただいた方には心より御礼申し上げます。今後とも電気学会の活動にご理解、ご協力いただきますよう、何とぞよろしくお願い申し上げます。